

キャンパス NOW

新学舎から改革 大阪電気通信大学

学長 塩田邦成さん

対談 生駒京子さん

卒業生・
関西経済同友会代表幹事

しおた・くになり 1956年生まれ。78年、立命館大文学部卒。同年、学校法人立命館事務職員、立命館アジア太平洋大事務局長など。2014年、東京大大学院を修了（教育学修士）。17年、大阪電気通信大大学事務局長・理事。22年4月から現職。

生き抜く力育む



塩田 本学のルーツは1925(大正14)年に開設された大阪無線電話学校です。世界的なモールス信号の普及やその年、日本でラジオ放送が始まることから、無線通信の技術者を育成するためでした。本学は電気通信の申し子であり、情報通信技術(TC)教育を推進します。また社会のニーズに対応して、研究力強化や産官学連携、卒業生の国際化を進めます。

生駒 入学した時、女子学生は4人でした。一人は台湾からの留学生。当時の学長が卒業生の生駒さんが昨年5月に経済団体のトップに就任したことと、大変うれしい二

度です。大学時代の思い出をお話ください。

塩田 2022年5月現在の学生数は3640人で、うち女子は468人と8・3%になりました。女子学生の受け入れには力を入れてきました。日本は過去20年で女子高生の進学率がすごく伸び、それが大学進学率の上昇を支えました。女子が過ごしやすい環境を整えていました。

生駒 仕事や研究をする上で建物は大きく影響します。わが社は、私の自宅がある大阪府八尾市のマンションの同じ棟にある55平方㍍の1室から始まりました。8年たち、大阪市中央区高麗橋に事務所を移したところ、お客様の顔や社員の雰囲気が変わりました。

知と技を大阪に

いこま・きょうこ 1956年生まれ。81年、大阪電気通信大工学部卒。ソフトウェア大手勤務、専業主婦を経て、94年にプロアシストを設立し社長に就任。2021年5月から関西経済同友会代表幹事。大阪産業局理事、大阪大招聘(じょうへい)教授も務めている。

「オープン化」。研究室は壁を設けず、家具で仕切っています。専門以外の研究に関心を持つことができ、刺激につながるでしょう。そばには学生や教員がコミュニケーションができるラウンジもあります。

塩田 建物のコンセプトは「オープン化」。研究室は壁を設けず、家具で仕切っています。専門以外の研究に関心を持つことができ、刺激につながるでしょう。そばには学生や教員がコミュニケーションができるラウンジもあります。

た。着るものや振る舞いに気を使つようになつたのです。さらに現在の同区北浜東のビルに移ると、ビルに恥じない仕事、生き方をしようという変化が見られました。

塩田 廊下やラウンジには木製の机や椅子を置いています。材料には、同じ敷地に以前建っていた校舎の基礎（松杭）を利用しています。古いものを生かす技術の伝承です。無機質になりがちな空間

開かれた空間で学際的な教育／企業に向け研究内容公開を

大学の工学教育は専門分野ごとに細分化されています。イノベーションには、学際的教育も必要だと考えました。オープンな仕掛けは、これらの教育にマッチしていくことを思っています。

生駒 対談前に案内してもらつた。『これからはコンピューター』と薦められたのです。この名前が「ダ・ヴィンチ」と「デューリング」（英国の数学）の名前です。学生ラウンジの名前が「ダ・ヴィンチ」や「デューリング」（英語の数学）

にぬぐもりも生まれました。生駒 現在、女子学生は何ですか？ 塩田 2022年5月現在の学生数は3640人で、うち女子は468人と8・3%になりました。女子学生の受け入れには力を入れてきました。日本は過去20年で女子高生の進学率がすごく伸び、それが大学進学率の上昇を支えました。女子が過ごしやすい環境を整えていました。

生駒 伝統的にこだわって建物は大きく影響します。わが社は、私の自宅がある大阪府八尾市のマンションの同じ棟にある55平方㍍の1室から始まりました。8年たち、大阪市中央区高麗橋に事務所を移したところ、お客様の顔や社員の雰囲気が変わりました。

キャンパス
寝屋川キャンパス
(大阪府寝屋川市初町180の8)
四條畷キャンパス
(大阪府四條畷市清瀧1130の70)

学部
工学部（電気電子工学科、電子機械工学科、機械工学科、基礎理工学科、環境科学科、建築学科）、情報通信工学部（情報工学科、通信工学科）、医療健康科学部（医療科学科、理学療法学科、健康スポーツ科学科）、総合情報学部（デジタルゲーム学科、ゲーム＆メディア学科、情報学科）

OECUイノベーションスクエア
鉄骨3階建て、延べ床面積約1万9500平方㍍。紹介動画を大学ホームページで公開中=QRコード

